

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	成安造形大学
設置者名	学校法人京都成安学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
芸術学部	芸術学科	夜・通信		32		32	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>本学ホームページで公表 情報公開／学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関する こと／実務家教員担当科目について（一覧） https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_30_2019jitsumukakyouinichiran.pdf</p> <p>情報公開／授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること／2019年度 学修案内シラバス（授業科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科目の 特長、到達目標 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirabasu.pdf</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	成安造形大学
設置者名	学校法人京都成安学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページで公表 情報公開／学校法人京都成安学園に関する情報／学校法人京都成安学園 平成 31 年度役員名簿 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_25jouhoukoukaiyou_yakuin_H310705.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	オプテックグループ (株)取締役相談役	平成 30 年 4 月 1 日～令 和 4 年 3 月 31 日	理事長 法人全ての業務
非常勤	弁護士	平成 29 年 4 月 1 日～令 和 2 年 3 月 31 日	法務担当
(備考) 学外者である理事については、上記2名の他にも2名（計4名）選任している。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	成安造形大学
設置者名	学校法人京都成安学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画(シラバス)の作成過程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年度の事業計画を確認(教務委員会・領域会議) 4月 ・アンケート結果による前年度の振り返り・意見聴取(教務委員会・領域会議・各科目担当者) 5月～7月 ・カリキュラム・時間割策定ガイドライン確認(教務委員会) 9月 ・時間割編成方針説明(合同領域会議) 10月 ・開講科目一覧作成、シラバス依頼方針決定(教務委員会・領域会議) 11月～12月 ・シラバス依頼(各科目担当者) 12月～1月 ・シラバス内容チェックについて 2月～3月 ・シラバス公開 3月(新年度ガイダンス時) <p>授業計画の作成・公表時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上に情報公開 6月 	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>本学ホームページで公表</p> <p>情報公開/授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること/2019年度学修案内シラバス(授業科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科目の特長、到達目標)</p> <p>https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirbasu.pdf</p> <p>情報公開/授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること/2019年度スケジュール</p> <p>https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/H30_2019schedule.pdf</p>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

学則

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第24条第2項の授業科目については、別に定める方法により学修の成果を評価して単位を与える。

履修規程

(試験)

第12条 試験は、科目担当者が筆記試験、レポート試験、課題作品、口頭試問等により実施する。

(単位認定)

第13条 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に所定の単位を与える。

2 他大学等で取得した既修得単位の認定は、別に定める規程による。

3 やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した場合に、保留該当者として救済措置をとることがある。

4 保留該当者の試験実施については別に定める。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
学則第30条(成績)及び履修規程第14条(成績)、第14条の2(GPA)に基づき、以下の通りGPAを定める。

シラバス

(成安造形大学GPAについて)

GPAは学期ごとに配付する成績通知書で確認することができます。

学期ごとのGPAを確認することでその学期の学修状況を確認できます。GPAが高かった場合は、次学期の履修登録単位数を増やすなど学修の幅をひろげ、GPAが低かった場合は、履修登録単位数を減らすなど学修改善の機会としてください。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②GPA算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S (秀)	4
89～80	A (優)	3
79～70	B (良)	2
69～60	C (可)	1
59点以下	D (不可)	0
認定科目		対象外
資格課程必修科目		

$$\begin{aligned} & S \text{ の修得単位数} \times 4.0 \\ & + A \text{ の修得単位数} \times 3.0 \\ \text{GPA} = & + B \text{ の修得単位数} \times 2.0 \\ & + C \text{ の修得単位数} \times 1.0 \\ & \hline & \text{総履修登録単位数 (「D」の単位数含む)} \end{aligned}$$

③学修指導について

本学では、平成29年度から各学期のGPA数値が1.5未満の学生に対して、個別に履修指導を行い履修計画の見直しを行います。

また4学期連続してGPAが1.0未満の学生に対して学長が退学勧告を行います。

④その他GPAの利用について

- ・本学の給付奨学生並びに特待生の適正審査の資料
- ・外国人留学生の授業料減免、学修状況確認に関する審査資料
- ・就職や進学で成績順位の掲示を求められる場合は、学年別のGPAによる成績順位を算出します。

<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>本学ホームページで公表 情報公開／学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定 に当たっての基準に関する事／成安造形大学履修規程 (平成 30 年 4 月 1 日改正) https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/2018_24_risyukitei.pdf (P. 3, 4)</p> <p>情報公開／その他 (学則・規程ほか) ／成安造形大学学則 (平成 31 年 4 月 1 日改正施行) https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_26%20gakusoku_H31.4kaitei.pdf (P. 9, 10)</p> <p>情報公開／授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関する事／2019 年度 学修案内シラバス (授業科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科目の特長、到達目標) https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirbasu.pdf (P. 8)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

成安造形大学 教育目標

(学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針)

1. 知識・理解 (認知的領域)

1. 芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
2. 芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
3. 多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。

2. 技能 (精神運動的領域)

1. 日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
2. 情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
3. 専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
4. 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。

3. 態度・志向性 (情動的領域)

1. 自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
2. 他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
3. 卒業後も自らを律して学習できる。
4. 自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
5. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。

4. 創造性 (総合的・実践的領域)

1. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
2. 専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

履修規程 (卒業判定)

第17条 卒業判定については、学則第23条および第40条に基づくものとし、卒業に必要な単位として以下の各号において定める単位を修得しなければならない。

- (1) 専門研究科目群専門研究科目より2科目10単位
- (2) 専門導入科目群専門導入科目および専門基盤科目群専門基盤科目より所属する領域が指定する科目を22科目44単位
- (3) 応用科目群芸術応用科目より所属する領域が指定する領域概論並びに領域論を5科目10単位
- (4) 社会実践科目群地域貢献・プロジェクト科目より、2科目4単位
- (5) 基礎科目群芸術基礎科目より4科目8単位
- (6) 応用科目群芸術応用科目より第17条第3号に該当する科目を除き、応用科目群の中から2科目4単位
- (7) 社会実践科目群キャリアデザイン科目より2科目以上4単位

学則 (授業科目の履修と卒業要件)

第23条 学生は、次の各号に定めるところにより、別表第1-1及び別表第1-2の教育課程を履修しなければならない。

- (1) 開設授業科目は、第1年次より第4年次までにおいて履修する。
 - (2) 必修授業科目は、卒業までにその全部の単位を修得しなければならない。選択授業科目は卒業までに規定の単位数を修得しなければならない。
- 2 卒業に必要な単位数は、次の各号に定めるところにより、124単位以上とす

る。

(1) 専門研究科目群の10単位を修得する。

(2) 専門導入科目群、専門基盤科目群、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群より114単位以上を修得する。

(卒業)

第40条 本学に4年(第21条及び第21条の2の規定により入学した者は、同条2項の在学すべき年数)以上在学し、本学則に定める授業科目及び単位数を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

2 学長は、卒業を認定した者に対して卒業証書・学位記を授与する。

シラバス(進級・卒業について)

(1) 進級について

成績単位の修得状況にかかわらず2年次及び3年次へは進級します。ただし4年次に進級するためには別に定める進級判定基準を満たさなければいけません。4年次への進級を不可と判断された場合は、原級(3年次)に留まらなければいけません。

進級判定基準

① 専門研究課程にすすむ学力を有していること

② 総修得単位数が76単位以上であること

③ 領域の専門科目及び領域の受講指定する芸術応用科目の修得単位数が54単位以上であること

*1①～③の要件を充たさない場合は面接による審査を行う

*2 但し総修得単位数が51単位以下もしくは領域の専門科目及び領域の受講指定する芸術応用科目の修得単位数が43単位以下の場合は、書類審査のみで自動的に3年次留年とする

(2) 卒業について

本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。(卒業に必要な単位数についてはP.12に記載)

(3) 卒業の時期について

① 卒業の時期は、後期末(3月)または前期末(9月)です。

② 後期末(3月): 後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。

卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。

③ 前期末(9月): 前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。

卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>本学ホームページで公開 https://www.seian.ac.jp/about/policy/</p> <p>情報公開／その他（学則・規程ほか）／成安造形大学学則 （平成 31 年 4 月 1 日改正施行） https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_26%20gakusoku_H31.4kaitei.pdf （P. 8, 11, 12）</p> <p>情報公開／学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定 に当たっての基準に関する事／成安造形大学履修規程 （平成 30 年 4 月 1 日改正） https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/2018_24_risyukitei.pdf （P. 5）</p> <p>情報公開／授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授 業計画に関する事／2019 年度 学修案内シラバス（授業 科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科 目の特長、到達目標） https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirabasu.pdf （P. 7）</p>
------------------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	成安造形大学
設置者名	学校法人京都成安学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_31_H30HPkeisanshorui.pdf
収支計算書又は損益計算書	本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_31_H30HPkeisanshorui.pdf
財産目録	本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_33_H30_zaisanmoku roku.pdf
事業報告書	本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_35_koukaiyoujigyou uhoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_34_H30kansahoukokusho.pdf https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_37_H30kessan_dokuritsukansahoukokusho.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: 学校法人京都成安学園 令和元年度(平成31年度) 事業計画 対象年度: 令和元年度(平成31年度))
公表方法: 本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_39_seiangakuen_31jigyokeikaku.pdf
中長期計画(名称:) 対象年度:)
公表方法:

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：本学ホームページで公表

https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/H30zikotenken_hyoukahou_kokusyo.pdf

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：本学ホームページで公表

https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/H27_jikotenken_seian.pdf

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 芸術学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページで公表 情報公開／大学の教育研究上の目的に関すること https://www.seian.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） 成安造形大学は、デザイン及び美術に関する学術の中心として、広く知識を授けると共に、深く専門の理論、技能及びその応用を教授研究し、人格の完成を図り、国際性に富み、個性豊かな教養の高い人材を育成し、もって文化の創造・発展、産業の発展、国家社会の福祉に寄与することを目的とする。（成安造形大学学則第1条） 「芸術による社会への貢献」という基本理念（教育理念）の下、「誠と熱」を持ち、公正さと創造性を兼ね備える、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材の育成を目的とする。（成安造形大学学則第2条の2） 基本理念（教育理念）「芸術による社会への貢献」 私たち成安造形大学は、芸術分野における真摯な教育と研究を通して広く社会に貢献する。独自の実践的学士課程教育によって、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材を輩出する。そして、誇るべき永い伝統を全員が胸に抱き、新しき名門を目指す。 私たちは今、自らの文化や精神性を改めて深く認識し、それらをしっかりと引き継ぐことを真剣に考えねばならない時代にある。芸術の果たす役割もますます大きくなっていくに違いない。その中で私たちは、芸術大学の今日的意義を模索し、あるべき姿を追い求める。そして、新たな芸術観の確立に向けて研鑽を重ね、公正なまなざしで自らの社会性を高め、創造性豊かな提案を続けていく。 私たちは、学びのクオリティーにこだわる。総合性と専門性を両立しうる高度なカリキュラムを準備するとともに、和気藹々と心地よく学べるゆきとどいた教育環境を整える。学生一人ひとりの個性としっかりと向き合い、持てる力を大きく引き出す少人数教育を行う。私たちは、造形にもとづく叡知を開く。ものをかたちづくるその過程において、多くを学び、心が生き生きする出会いの瞬間を見いだす。自然や素材と交わる経験を通して、学生たちが感性を大きく伸ばせる実践教育を行う。 私たちは、決して揺るがない。自らの芸術を実現し、高く成し遂げるための信念において揺るがない。なぜなら、本学には校訓「誠と熱」が脈々と息づいているからである。私たちは、私たちの起源であるその盤石の精神を継承し、さらに発展させ、学生たちに伝えていく。 私たちは、この場所から始めていく。この場所から生み出していく。学生たちとともに、多くの人々との交流と連携を進め、芸術の力で地域を活性化させる。 そして私たちは、美しい湖国唯一の芸術大学であるという自負を携え、その熱き鼓動を世界に向けて響かせる。
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/about/policy/ ）
（概要） ディプロマ・ポリシー 成安造形大学 教育目標（学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針） 1. 知識・理解（認知的領域） 1. 芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。 2. 芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。 3. 多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。 2. 技能（精神運動的領域）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。 自分の考えを伝えることができる。 2. 情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。 3. 専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。 4. 問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。 論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。 <p>3. 態度・志向性（情動的領域）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。 2. 他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。 3. 卒業後も自らを律して学習できる。 4. 自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。 5. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。 <p>4. 創造性（総合的・実践的領域）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。 2. 専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/about/policy/）</p> <p>（概要） カリキュラム・ポリシー</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学修の順次性を明確にし、総合的な造形的基礎と高度な専門性を養成する。 2. 導入教育を充実させて社会人として必要な基礎力と対課題能力を養成し、それぞれが学ぶ専門分野と有機的にむすびついた高度な社会実践力を確立する。 この教育方針の下に芸術学部芸術学科の教育課程は、1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》に分けます。また、各科目を「学部共通科目」と「専門科目」で編成します。 「学部共通科目」では、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としています。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/about/policy/）</p> <p>（概要） アドミッション・ポリシー</p> <p>成安造形大学が求める学生像は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術を学びたいという意欲と熱意のある人 学びたい専門分野がある、実践したい制作（研究）テーマがあるなど、芸術をとおして将来の夢をかなえようとする学生。 ・ 芸術を学ぶために必要な感性のある人 豊かな感性と自由な発想力を持ち、成安造形大学でさらにそれを高めようとする学生。 ・ 成安造形大学の基本理念「芸術による社会への貢献」に共感できる人 専門分野をいかし、社会や地域と連携した実践的な学びの中で、生きるチカラを養い、自分の可能性を磨こうとする学生。 ・ 成安造形大学の教育システムを理解し活用できる人 本学独自の教育システムである成安パーソナルプログラム（SPP）をいかしながら、学んでいこうとする学生。

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページで公表 情報公開／教育研究上の基本組織に関すること／令和元年度 組織図（令和元年5月1日） https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_01%20H31soshikizu.pdf 情報公開／教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位および業績に関すること／令和元年度 成安造形大学運営組織図・教員組織 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_02%20H31uneisoshikizu_kyouin.pdf</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
芸術学部	—	16人	16人	0人	7人	11人	50人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		125人					125人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/dept/teacher/					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
FD委員会を設置し、平成22年度以降学内でのFD研修会を年2回実施。 また、同年より授業評価アンケートを開始。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
芸術学部	200人	235人	117.5%	820人	943人	115%	10人	10人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	200人	235人	117.5%	820人	943人	115%	10人	10人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
芸術学部	154人 (100%)	3人 (1.9%)	116人 (75.3%)	35人 (22.7%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	154人 (100%)	3人 (1.9%)	116人 (75.3%)	35人 (22.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) ㈱息吹工藝社、㈱永昌堂印刷、㈱ケセラセラ、㈱島津アドコム、㈱SIN、真正印刷㈱、㈱新通、㈱第一紙行、ヌマタ印刷㈱、㈱ビズリーチ、㈱メンバーズキャリア、㈱読宣、(有)I was a barellina、㈱カプコン、㈱ジークレスト、㈱ディンプス、㈱トーセ、㈱ヌーヴェルヴァーグ、㈱アイジーエー、アッシュペーパーフランス㈱、アンドウ㈱、旭興㈱、㈱ショービ、㈱マーブルシュッド、㈱伊藤軒、ウエルシア薬局㈱、㈱カミオジャパン、㈱ケイ・ウノ、シミズ薬品㈱、㈱たねや、第一精工㈱、㈱東洋レーベル、㈱仁々木、㈱本きもの松葉、㈱マツヤスーパー、アヤハ不動産㈱、一級建築士事務所エキスポ、㈱OSCARJ・J、㈱キートン、㈱滋賀測量設計事務所、セントラルデザイン㈱、㈱ハートス、馬路村農業協同組合、(有)川面美術研究所、島津漆彩色工房、㈱宝塚舞台、一般社団法人福祉心話会、金沢美術工芸大学大学院、大阪市立大学大学院、筑波大学大学院				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

2019年度 学修案内シラバス

(授業科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科目の特長、到達目標)

https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirabasu.pdf

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 概要)

学則

(単位の授与)

第25条 授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を与える。ただし、第24条第2項の授業科目については、別に定める方法により学修の成果を評価して単位を与える。

履修規程

(試験)

第12条 試験は、科目担当者が筆記試験、レポート試験、課題作品、口頭試問等により実施する。

(単位認定)

第13条 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に所定の単位を与える。

2 他大学等で取得した既修得単位の認定は、別に定める規程による。

3 やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した場合に、保留該当者として救済措置をとることがある。

4 保留該当者の試験実施については別に定める。

シラバス

(履修登録)

(1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修(学修)計画に基づき、授業科目について履修(授業を受ける)の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

(2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに実施します。履修登録は定められた期間内で行います。

(3) 履修登録の注意点

(①～⑨略)

⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、全学年24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。

なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」、「二級建築士受験資格講座科目」はこの単位数に含みません。

(⑪～⑰略)

(成安造形大学GPAについて)

GPAは学期ごとに配付する成績通知書で確認することができます。

学期ごとのGPAを確認することでその学期の学修状況を確認できます。GPAが高かった場合は、次学期の履修登録単位数を増やすなど学修の幅をひろげ、GPAが低かった場合は、履修登録単位数を減らすなど学修改善の機会としてください。

⑱履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に

加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけG P Aが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②G P A算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S (秀)	4
89～80	A (優)	3
79～70	B (良)	2
69～60	C (可)	1
59点以下	D (不可)	0
認定科目		対象外
資格課程必修科目		

$$\text{G P A} = \frac{\begin{array}{l} \text{Sの修得単位数} \times 4.0 \\ + \text{Aの修得単位数} \times 3.0 \\ + \text{Bの修得単位数} \times 2.0 \\ + \text{Cの修得単位数} \times 1.0 \end{array}}{\text{総履修登録単位数 (「D」の単位数含む)}}$$

③学修指導について

本学では、平成29年度から各学期のG P A数値が1.5未満の学生に対して、個別に履修指導を行い履修計画の見直しを行います。

また4学期連続してG P Aが1.0未満の学生に対して学長が退学勧告を行います。

④その他G P Aの利用について

- ・本学の給付奨学生並びに特待生の適正審査の資料
- ・外国人留学生の授業料減免、学修状況確認に関する審査資料
- ・就職や進学で成績順位の掲示を求められる場合は、学年別のG P Aによる成績順位を算出します。

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
芸術学部	芸術学科	124 単位	有・無	24 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
G P Aの活用状況 (任意記載事項)	公表方法：本学ホームページで公表 2019 年度 学修案内シラバス https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirabasu.pdf			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページで公表
https://www.seian.ac.jp/about/campus_map/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
芸術学部	芸術学科 総合領域 1年生	900,000円	200,000円	152,000円	施設実習費：150,000円 領域別交流会費：2,000円
	芸術学科 総合領域 2年生	900,000円	0円	150,000円	施設実習費：150,000円
	芸術学科 総合領域 3年生	900,000円	0円	87,500円	施設実習費：87,500円
	芸術学科 総合領域 3年次編入 生	900,000円	100,000円	89,500円	施設実習費：87,500円 領域別交流会費：2,000円
	芸術学科 総合領域 4年生	900,000円	0円	97,500円	施設実習費：87,500円 卒業制作展作品集・卒業アルバム 制作費：10,000円
	芸術学科 地域実践 領域 1年生	900,000円	200,000円	52,000円	授業実習費：50,000円 領域別交流会費：2,000円
	芸術学科 地域実践 領域2年 生	900,000円	0円	50,000円	授業実習費：50,000円 地域実践領域は、現在3年生・ 4年生は在籍しません。
	芸術学科 上記以外 の領域 1年生	1,560,800円	200,000円	2,000円	領域別交流会費：2,000円
	芸術学科 上記以外 の領域 2年生	1,560,800円	0円	0円	
	芸術学科 上記以外 の領域 3年生	1,560,800円	0円	0円	
	芸術学科 上記以外 の領域 3年次編入 生	1,560,800円	100,000円	2,000円	領域別交流会費：2,000円
	芸術学科 上記以外 の領域 4年生	1,560,800円	0円	10,000円	卒業制作展作品集・卒業アルバ ム制作費：10,000円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 成安パーソナルプログラム (SPP) https://www.seian.ac.jp/about/policy/</p> <p>2019 年度成安手帖 (抜粋) 4. 学生生活について 5. 学費・経済的支援について ・奨学金 等 8. 施設と附属機関 ・クリエイティブサポート 等 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_23%20H31_seiantecho.pdf (P. 40～56, 84)</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) キャリアサポートの特徴 https://www.seian.ac.jp/dept/career_support/ キャリアを考える学び https://www.seian.ac.jp/dept/career_study/</p> <p>2019 年度 学修案内シラバス (授業科目、授業の方法・内容、授業計画、履修モデル、主要科目の特長、到達目標等) https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_20%202019all_shirbasu.pdf (P. 165)</p>
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p> <p>(概要) 成安造形大学における障がい学生支援に関する基本方針と受入れ姿勢 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/shogai_gakuseishien.pdf 成安手帖 (P. 57～63) 6. こころと身体の健康 ・保健室 ・学生相談室 ・フリールーム 等 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_23%20H31_seiantecho.pdf</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：公表方法：本学ホームページで公表 https://www.seian.ac.jp/assets/pdf/about/public_info/R1_35_koukaiyoujigyohoukoku.pdf</p>
--